

第1学年 道徳科学習指導案

平成30年10月31日（水）第5校時

1 主題名 よりよい社会の実現 内容項目 【C 社会参画・公共の精神】

2 ねらい 野口さんの気持ちを多様に考えることを通して、自分たちも社会の一員であるという自覚を高め、よりよい社会の実現に向けて具体的な取り組みを考え、互いに積極的に協力していこうとする態度を育てる。

教材名 「次は清掃登山に挑戦だ」
(出典『彩の国の道徳（中学校）自分をみつめて』埼玉県教育委員会)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

「社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること」をねらいとしている。学習指導要領によると「社会参画の意識」とは、次の内容項目である「勤労」とも相まって、共同生活を営む人々の集団である社会の一員として、その社会における様々な計画に積極的に関わろうとすることとある。また、「社会連帯の自覚」とは、社会生活において、一人一人が共に手を携え、協力し、誰もが安心して生活できる社会をつくっていこうとすることとある。

人は誰もがよりよい社会の実現を望む心を持っている。しかし、時としてそれが自分のことだけを考えて行動をとってしまったたり、思いとは裏腹になかなか行動に移すことが出来なかったりする。特に、中学生のこの時期は、周りの大人や先輩に頼る余り人任せになりがちで社会のための行動が消極的になってしまう傾向が見られる。

そこで、よりよい社会の実現に向けて、一人一人が社会の一員であるという自覚を高め、社会全体に目を向け、お互いが安心して生活できる社会を作っていこうという気持ちを持ち、よりたくさんの人と協力して積極的な行動につなげていくことが必要である。

指導に当たっては、自分たちも社会の一員であることを意識させ、社会参画が特別な行動ではなく当たり前の生き方につながるものであることに気付かせたい。また、一人の行動が誰かの心を動かし、社会連帯につながっていくことに気付かせ、一人一人の思いを行動に移すことの大切さを感じさせていきたい。

また、話し合いの場では、まず自分の考えをもたせるようにし、さらにペア・集団での話し合い活動を通して、自分の考えを深めていくようにする。

(2) 生徒のこれまでの学習状況及び生徒の実態について

【社会参画・公共の精神】に関しては、小学校低学年で「働くことのよさを知り、みんなのために働くこと」、中学年で「働くこと大切さを知り、進んでみんなのために働くこと」、高学年で「働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすること」を学習してきた。

現時点での生徒の実態を把握するため、次のようなアンケートを行った。

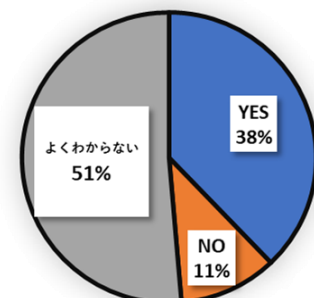
(平成30年9月4日実施 調査数37名)

1. あなたは、「よりよい社会のために」何かしたことはありますか？

YES 14名

NO 4名

よくわからない 19名



2. 1. の質問について

【YESと答えた人】「どんなことをしたことがありますか。」()内は理由 14名
人が落としたゴミを拾った。4 (ポイ捨てはダメだから。ゴミのない社会のため。)
資源回収ボランティア2 (なんとなく)
募金 (小銭がたくさんあったから)
近所の人の荷物を持ってあげた。
あいさつ運動を行った。(明るい社会に少しでもできれば良いと思ったから。)
川や学校の周りを掃除した。(きれいになったら気持ちが良いから)
地域の草取り
バスで人に席を譲った。2 (大変そうだったから)
ごみの分別をした。

【NOと答えた人】「なぜ、しなかったのですか？」4名
やろうと思ったが、勇気が出なかった。
あまり外に出ないから。2
したくなかったから。

【よくわからないと答えた人】「そう答えた理由を教えてください。」19名
どういう行為がよりよい社会のためなのかわからない。11
何をすればいいのかわからないから。3
気にしたことがないから。
覚えてない。2
自分が良いと思っても、周りにとっては悪いことかもしれないから。
よりよい社会がわからない。

3. 「よりよい社会のために」何かをするとは、どういうことだと思いますか？

(回答例)
人が「助かる」と思うこと。人のためになること。5
いいこと。4
ゴミ拾い 3
自分より、周りのことを考えて行動すること。3
社会をよくするために何か協力すること。3
命を助けること。次世代に命をつなげること。2
困っている人を助けること。2
自分たちの未来もよくなる。
めんどくさいこと。
わからない。4

4. “野口健さん”を知っていますか？

YES 0名 NO 37名

アンケート結果を見ると、質問1『「よりよい社会のために」何かしたことはありますか。』については、約半数の生徒が、「よくわからない」と回答している。その理由として、「どういう行為が『よりよい社会のため』なのかわからない」と回答している生徒が多い。また、YESと答えている生徒も14名(38%)いるものの、内容として【社会参画・公共の精神】を意識した行いは多くない。特定の人への「思いやり」や「ルール」「自然」を意識した行為が多く見られた。

今回の話し合いを通して、「よりよい社会」のためになる行為は、中学生でも身近なところでも

行うことができ、社会の一員として「よりよい社会のために」行う行為の大切さに気付かせていきたい。また、一人では勇気が出なくとも誰かと協力して行うことで積極的な行動につながることもあわせて考えさせていきたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、七大陸最高峰の世界最年少記録を樹立した野口健さんが、次の目標である4年間のエベレスト山の清掃登山を決意した背景を描いたものである。はじめは、山の清掃に消極的だった野口さんは、隊長から「日本は経済は一流だけど、マナーは三流だね。」と言われたことなどを通して、自分だけでなくみんなのために清掃登山をすることを決意した。

中学生にとって、エベレストの清掃登山はなかなかハードルが高いものではあるが、中学生の自分でも社会のために何かできるのではないかと、自分は何ができるだろうかと考えるきっかけとしてこの教材を活用していく。変化の目まぐるしい社会の中で生きていく中学生にとって、人との関わりはより大切なものとなっていく。一人ではなしえない山の清掃活動もたくさんの仲間の協力で、進んでいったことにも目を向けさせていきたい。

この教材を通して、社会を形成する一員として、勇気をもって行動を起こし、仲間と協力してよりよい社会を実現しようとする力を育成していきたい。

そのため、本時の話合いでは、以下の2つの場面を中心にねらいにせまっていく。

①隊長に「ごみを拾おう」と言われ、乗り気でなかった野口さんの心の内をおさえる。

②記者会見で四年間のエベレストの清掃登山を宣言した野口さんの決意。

以上のことから、本主題を設定した。

4. 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される生徒の発言	指導上の留意点(・) 評価の観点(☆)	時間
導入	1 アンケート結果を提示し、道徳的な問題を見つける。		☆道徳的な問題を明らかにすることで、どの生徒も同じように課題意識を持たせるようにさせる。(発言・表情) ・アンケート結果を踏まえて、導入の段階での社会参画への気持ちを確認し、自分の気持ちを可視化する。	5分
	2 ワークシートの心のメモリ図を記入する。			
	3 本時の課題を確認する。			
課題：何をすることがよりよい社会のためになるのだろうか。				
展開	4 登場人物、条件・状況を確認する。			5分
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 条件・状況 主人公：登山家 野口健 登場人物：ラッセル（英・登山隊の隊長） ・平成11年 三度目でエベレスト登頂に成功。(最年少記録の25歳) ・今後 4年間 エベレストの清掃登山を行なうことを記者会見で発表。 </div>			
	5 教材「次は清掃登山に挑戦だ」の読み聞かせを聞く。		・教材の内容を理解させるために、抑揚をつけながら範読(判読)をする。	5分

展開	<p>6 道徳的価値の本当の意味について話し合う。</p> <p>(1)はじめに隊長に「ごみを拾おう」と言われた時の野口さんはどんなことを考えていたのだろうか。</p> <p style="text-align: center;">個人</p> <p>(2) そんな野口さんが「もうやるしかないぞ」と清掃登山をやると決めた。何が彼の心を動かしたのだろうか。</p> <p style="text-align: center;">グループ</p> <p>グループワークシート 1</p> <p>(3)あなたは社会の一員としてよりよい社会のためにどんな行動を起こしたいですか。</p> <p style="text-align: center;">個人 グループ</p> <p>自分の考えを付箋に書き、グループワークシート 2 に貼る。 友だちの考えで「いいね!」や「自分も一緒にやってみよう」と思ったものにシールを貼る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いいことだとは思いうけど。 ・ただでさえけがしているのに、そんなの無理だ。 ・何てこと言い出すんだ!そこまでやる必要はないよ。 ・みんながやるなら・・・。 ・誰かがやるだろうから、けがをしている自分がやる必要はない。 ・隊長に怒られたくないからやるか。 ・自分のゴミじゃないのに、やだな。 ・やったふりしようかな。 ・できるところまで頑張る。 <ul style="list-style-type: none"> ・このままだと大変なことになる。 ・誰かがやらないと。 ・みんなのため自ら動きたい! ・日本人の誇りを取りもどす! ・自分のことだけ考えているわけにはいかない。みんなのために頑張ってみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦などのボランティアに積極的に参加する。 ・ペットボトルのキャップを集める。 ・リサイクル・バザー ・元気に挨拶を行う。 ・節電。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの隊が残したごみを拾う余裕なんてないと断ろうとする主人公の気持ちを共感的にとらえる。 ・拾った方がいいに決まっているが、自分の身体も大事という葛藤の場面がこのあとどういう心の変化につながるのか考えさせる。 ・意見を交換させ、この場面での葛藤を感じさせる。主人公も特別な人間ではなくマイナスの気持ちからのゴミ拾いであったことを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・主人公が何に気付いたのか、心の変容に気づかせる。 ・3～4人の小グループで取り組ませることで、様々な意見を出させる。 ・意見を一つにまとめるのではなく、どんな意見が出たのか話合いの内容を発表させる。 <p>☆野口さんの心の内を多面的・多角的に考え、自分の考えを伝え、話し合っているか。(ワークシート・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に戻って考えさせる。 ・アンケートを振り返りながら、今までは社会の課題に気づきながらもなかなか行動に移せなかったことがないかを思い出させる。 	25分
----	--	--	--	-----

	7 心のメモリ図を記入する。 8 ワークシートに自分の考えを書く。		<ul style="list-style-type: none"> ・「できる度」「大切度」の変容を感じさせる。 ・話し合いを通して、自分の考えが深まったことや新たな気付きがあったことなどを自分の言葉でまとめさせる。 ☆社会の一員として、社会全体に目を向け、よりよい社会のために自分ができることを考えているか。(ワークシート・発言)	5分
終末	9 野口健さんの著書の一部を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・ほんの少しの勇気が社会をよりよく変える力となるという考えにつなげる。 	5分

5 他の教育活動との関連

事前指導	帰りの会で「よりよい社会の実現」について、生徒の実態を把握するためにアンケートを実施する。
事後指導	野口健さんの著書を紹介し、学級文庫に置く。 本時の板書の写真や生徒の感想を教室に掲示する。 学級会「スマイルアクション（議題未定）」（よりよい社会の実現に向けての実践への話し合い…学級会）
家庭との連携	本時の授業内容や生徒の感想を学年・学級通信等で紹介し、家庭でも「よりよい社会の実現」について話題にしてもらう。

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・野口さんの心の内を多面的・多角的に考え、自分の考えを伝え、話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・社会の一員として、社会全体に目を向け、よりよい社会のために自分ができることを考えている。

7 板書計画

大変

すぐやれる

課題 何をするのがよりよい社会のためになるのだろう

もうやるしかないぞ

こみを拾おう

そんな余裕ない。
自分ごみじゃないの
に嫌だなあ。
いいことだとは思うけど。
体力的にきつい。
みんなのために！
協力すればできる！誰
かがやるだろうから、け
がをしている自分がや
る必要はない。

野口健さん

四年間、エベレストに行きます。清掃登山です。

隊長 ラッセル

助骨3本骨折
七大陸最高峰登頂の
世界最年少記録25歳
エベレスト登頂成功

次回回は清掃登山に挑戦だ
C(12)よりよい社会の実現

(4) ワークシート

<p>① 自分の考えをもって話し合いに参加した。</p> <p>② 友だちの考えを聴き、自分の考えを深めた。</p> <p>③ 改めて、自分の考えを見つめ直すことができた。</p> <p>A A A</p> <p>B B B</p> <p>C C C</p> <p>C (心のメモリ図書いた?)</p>	<p>★この授業を通して、Aどんな自分に気がついたか、B課題に対して、どんなことを考えましたか、Cこれからの生活にいかしていきたいことは、何ですか。ABCを組み合わせさせて書きましよう。</p>	<p>課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>心のメモリ図「授業のはじめと終わりに」</p> <p style="text-align: center;">↑ 大切さ</p> <p style="text-align: center;">← できない できる →</p> <p>導入で◎、終末で○ 矢印で変化をつなぐ ○=目指したい自分、これからの自分</p> <p style="text-align: right;">メモ</p> </div>	<p>「主題」 ()</p> <p>「題名」 ()</p> <p>() 月 () 日 () 第 回</p> <p style="text-align: right;">名前 ()</p>
---	---	---	---



9 参考資料

学研 「あきらめないことそれが冒険だ エベレストに登るのも冒険、ゴミ拾いも冒険！」野口健